

一本化は難かしい

鈴木会長（平）

し、鈴木
氏（平医
師会長）

延長十五回戦で呉羽を降す

磐城市の小名浜港まつり野球

大会は二十四、五、日小名浜一
 中校應で行なわれ力行会戰德
 社（本社平市）チームが延長
 十五回で勿来市の呉羽化子チ
 ームを三對二で降し、二連勝
 を飾った。

四倉商店街
 九月に街灯
 四倉町の商店街は九月くる
 路灯の新設で明るくなる
 町同商工会（新妻常吉会）
 では駅前から四倉港前ま

の野心はない。従って、これまでのゆきがかりを捨てて両方の会長が第一戦から退き、当時の対立を知らない若い人たちに任ずることによって一本

を存続させるか、どうかで意見が分れ、私たち（平座師会）は一口にいうと市政に協力するために分れざるを得なかった」と、いつており、将来

諸橋市長歸る

諸橋平吉は去る四日羽田発で欧州の行政視察の旅にのほっていたが、二十日間の日程を無事に視察、二十六日午前五時羽田着、二十八日午後三時五十四分平駅着で数々の土産話を提えて駅頭は多数の出迎え者で賑つた。元気で帰平した。

形である。

平市の某有力者が医師会
化に乗り出したが石城医
では、あくまで石城地方

灰皿

えーの放言で一躍有名?になった

一ム優勝

回戦で吳羽を降す
川一緑川。

四倉商店街
九月に街灯
四倉町の商店街は九月か
路灯の新設で明るくなる
同町商工会（新妻常吉会）
では駅前から四倉港前ま

「昔相の地位について。ここから多量輸入に放置通りの奉仕を受けるというのか、米を食えるというのかわからないが、すでに米を食える政治的立場にある」といいたい▼このように、内郷ヘルセンターの池田立平氏が、「『石臼パンを……』と同じ『石臼パンを……』」と題して、係員が観望する油の油「ギギギ」やコシに石臼で挽いた小麦粉を主とする得意客を主にしなめかすというのを、

おおよそ二・五キロ（本町町、仲町間）に工費百万
銜路灯を新設することに
松田電工株式会社仙台出
の手によって工事中であ
る従来のアンドロシ街衛
では暗く、商店街の美点
となるものと新設を計画
部旧鉄柱を利用して区間
本に二十ワット二個しき
イコウ灯をとりつけたも
であった。

なお工事は八月中に完成
予定。

[illegible]

T
二
三
九
六

外 事 長
結 田 原 泉 会
城 辺
鬼 重
丸 信 衛 一 同

- 2 -

生S

く気がない。俺が数回メートル先に部落はずれの外灯の明りが目につく。逃げようか逃げようか。せつばつまた私も、やっと救われた。それはクダンの怪物、私から

のときの状況が、それとはまるで違っている。クマでもないう、人間でもない。それは目の錯覚か。そんなバカなことではない。でなければ本当にユレイでも見たのだらうか。

(つづく)

は、すれにたたりつゝとてがで
きた。ほつとした。ああ助か
った……という解放感が手伝
つて、そのときはど不気味さが
全身を包み、髪の毛が一本一
本絵毛立と思ひがした。

母だけが帰りを待ち、起き
ていた。そのことは母にだけ
話した。他には話さなかった
話したところで誰も本気にし

まゝ。傳ひてくれたらどうで
廉病者と笑われるくらいのも
のであると思つたからである
翌日、気持ちが平常にもどつ
てから考へてみたがサツとい
う物音と同時に黒い奇妙なも
のが眼前に現れたことを
最初はクマではなかつたと思
つたくらい大きかつた。しかし
クマなら墓石や墓標の間をぬ
くようにあるくようなことは
ない。出た瞬間に私の所在を
知るはずである、ましてクマ
は夜の動物でない。クマでな
ければ一体なんだろうか。人
間だろうか。だが、人間だつ
たら、真夜中に淋しい墓地な
どに現われるはずはない。二
重人格者が死体から血を吸う
という話は聞いているが、あ

丸 丹

穴原ホテル

三田村 元 主
中田 康子 演

世界館

丸 丹

大平洋服店ネーム部

頁 合

フ
ラ
ワ
ー

盛高屋

平市3丁目・TEL.3608

ひかり座

宝東新平

火の壁
大木実
高千穂ひづる主演

平 館

血太郎ひとり雲

東映 三夜東映

大人 77円 学生 55円 小人 40円 早朝割引 55円

キヤロル・リンレイ
ブランドン・デ・ウィ
ルデ

主演

聚樂館

一、期日 八月十九日(三泊四日)
 一、会員 四〇名
 一、会費 六千五百円也
 一、宿泊 羽黒山宮田坊、湯の浜温泉、飯坂温泉
 一、行程

一、日程

(第一日) 平七日、三八発(準急をうま号)―仙台―羽前千蔵―新庄―刈川―羽黒山(第二日) 羽黒山―月山―湯殿山―鶴岡―湯の浜温泉(第三日) 湯の浜温泉―鶴岡―余月―新庄―山形―福島―飯坂温泉(第四日) 飯坂―福島―郡山―平一五、五〇着

◎ 飯参加希望の方は金壹千円也添え御申込み下さい。

◎ 備考 出発当日の朝昼食は各自御持参下さい。尚月山、湯殿山登山の方は防寒シャツ、雨具金剛枕、地下足袋等を御用意下さい。

登録第三〇号

力行会観光部

平市 紺屋町 一―一

TEL(平)五五二二二三

販売元 報 徳 物 産
本社 平市紺屋町 電話5521-3・4843
営業所 東京・静岡・平・仙台・函館